

# グローバルイゼーション入門

2007年4月7日

東京大学経済学研究科

植田和男

# グローバル化とは？

- 一般的には、モノ・カネ・(ヒト)が国境を越えて活発に移動すること。
  - 経済学では、モノ・カネの移動とヒトの移動は別の意味。
    - モノ・カネの移動があればヒトの移動はいらない？
    - ヒトの移動はモノ・カネほどではない。
- いずれにせよ、未曾有のグローバル化の波が訪れている。

ロンドンの住民は、朝方、ベッドでモーニング・ティーを飲みながら、電話で、全世界の様々な産物を彼が適当と思うだけ注文することができ、当然のこととして、それらがほどなく戸口に配達されると期待するのだった。彼は、同じように電話で、自分の財産の好きな部分を世界中の天然資源や新事業に投資し、それ以上の手間隙、心労をかけずに、その後の果実や利益の分配を受け取ることができた。

1914年8月に終わりを告げたあの時代は人類の進歩の中でも格別のものだった。。。。ロンドンの住民は、朝方、ベッドでモーニング・ティーを飲みながら、電話で、全世界の様々な産物を彼が適当と思うだけ注文することができ、当然のこととして、それらがほどなく戸口に配達されると期待するのだった。彼は、同じように電話で、自分の財産の好きな部分を世界中の天然資源や新事業に投資し、それ以上の手間隙、心労をかけずに、その後の果実や利益の分配を受け取ることができた。(ケインズ「平和の経済的帰結」訳：筆者。)

# 何度もあった グローバル化の波

- 2000年以上前のローマ帝国形成期
  - 広大な物品運搬ネットワーク、共通言語・法制度・貨幣等がグローバル化を促進。
- 15世紀から16世紀:コロンブス、ヴァスコ・ダ・ガマの航海以降、より大規模なグローバル化へ。
  - 航海技術の発達が重要な契機。
- 1840年頃から第1次大戦まで。

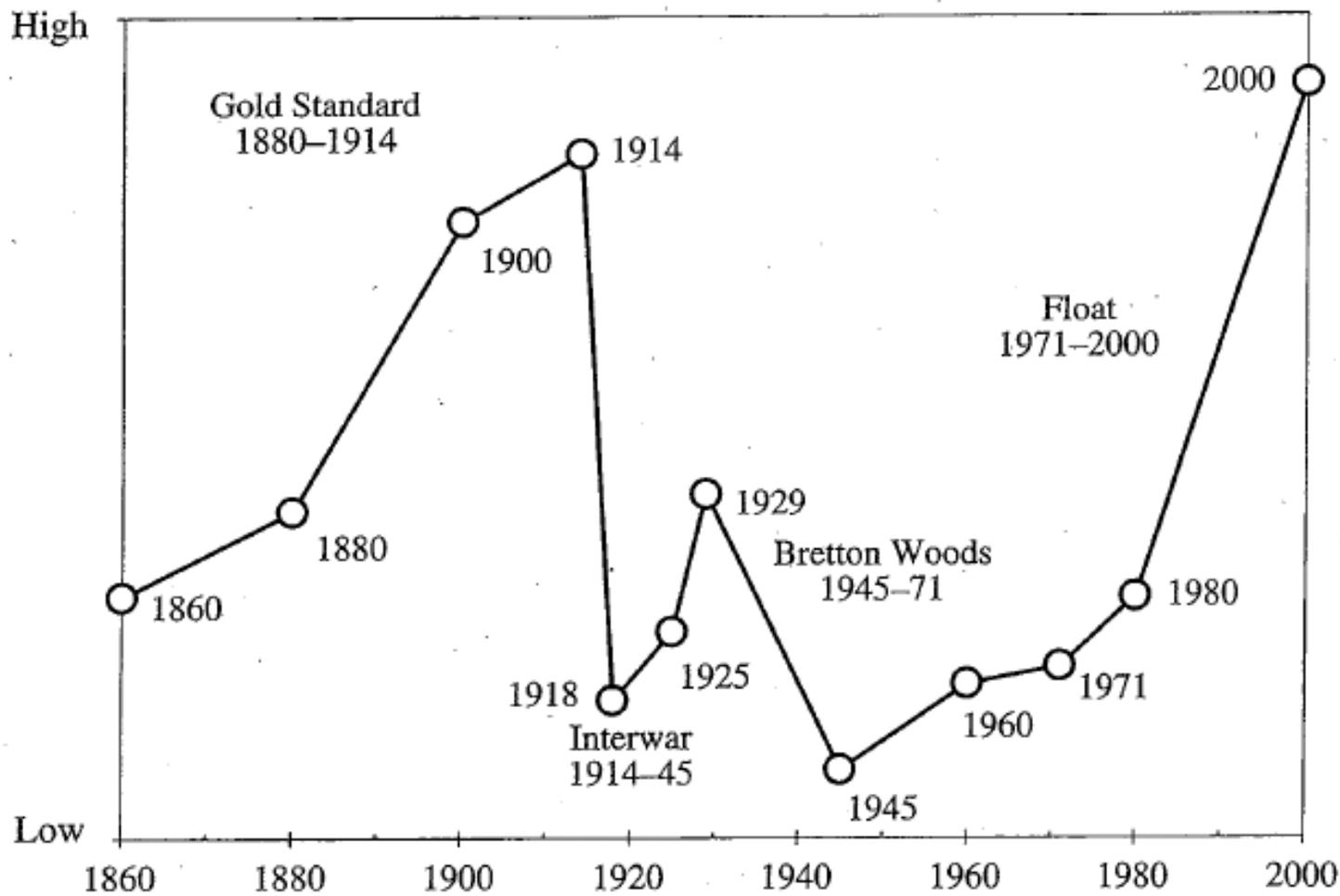
# 19世紀～20世紀初頭

- 運輸（高速蒸気汽船、スエズ・パナマ運河の開通、鉄道ネットワークの広がり）・通信技術（電話・電報）の発達が決定的に重要。
  - アメリカとヨーロッパをつなぐケーブル
- 金、ないし銀本位制の採用。
- 自由貿易の促進
  - イギリスにおける穀物条例の廃止（1846年）。
- 全世界的に「資本主義」が広まった時代。
- 2度の世界大戦でストップ。

# 現代のグローバリゼーション

- 第二次大戦後、先進資本主義諸国間に平和が続いたことに加え、1989年の「ベルリンの壁崩壊」が大きなインパクト。
  - 世界規模のグローバリゼーションへ。
    - 1990年代半ば頃からの中国、そしてロシアの参加。
- コンピューター・通信技術の発達。
  - 例えば、グローバルなスケールでのサプライ・チェーン・マネジメントへ。
  - サービスの貿易財化。
- 国際的な金融資産の売買の活発化
  - 19世紀にもあったが、鉄道債や国際の売買に限られた。

Fig. 1.3. A stylized view of capital mobility in modern history



Source: Introspection.

#11: Obstfeld & Taylor  
Global Capital Markets

# グローバリゼーションのベネフィット

- Sachs & Warner, Fig.2.
- 同4, 5, 6.
- 分配は基本的に平等化する。
  - インド・中国だけで10億人以上の人たちが、生活最低水準以上の所得に上昇。
  - 開放的な国の間で見ると、初期時点の所得水準が低い国の方が、早い速度で成長する＝国際的に格差が縮まる。
  - 閉鎖的な国の間ではそうした傾向は見られない。

# 金融のグローバル化の意義

- 国境を越えたお金の貸し借りが可能。
- 資産運用の国際的分散が可能に。
- 国内の貸し借りも効率化。
  - グローバル化の中で国内の金融機関を含めた金融・法制度が充実。
  - そうでない国でいくら働いても低い所得、米国に移住すれば高い所得へ。
    - 効率的な金融制度によって(ベンチャー・ビジネス等を含めて)労働者が一緒に働くべき機械等が整備されているから。

# グローバル化批判論

- 格差論
  - 特に先進国における輸入競争産業利害関係者。
- 金融の不安定性
  - 最近ではLTCM倒産に伴うグローバルな金融危機
    - ロシアのデフォルト→LTCMを通じて世界に広がる。
- 環境・資源、文化、安全